

「野菜づくりを通して子どもたちと楽しい交流を図ろう」と、

ことしも生涯学習事業の一つ「むらおこしふるさとふれあい講座」が大好評のうちに終りました。一年目を迎えたことしの「ふれあい講座（ふれあい農園）」は、昨年とはちょっと趣向をかえ、岩室地区（中央保育園）では甚句枝豆の栽培を、そして、和納地区（和納保、和第二保育園）では、わなみパンプキン（カボチャ）の栽培を老人クラブの人たちと共に行いました。そこで今月号では、この楽しかった「ふれあい農園」の様子をご紹介しましょう。

みごとに育った「ふれあい枝豆」の収穫ではみんな大はりきり(8/29)



生涯学習推進事業

祖父母・孫「ふれあい農園」甚句枝豆・パンプキン

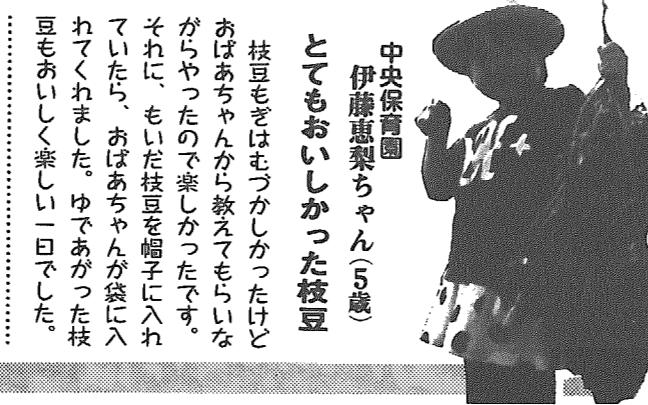
今年もこんなに大きく実りました

むらおこしふるさとふれあい講座

野菜づくりを通して
世代を超えた交流を

くりを通してのふれあいが楽しかったね、また来年もぜひ参加したいとの声が圧倒的でした。そんな大好評だったふれあい農園、ことはもっと多くの子どもたちから、そしてお年寄りから参加してもらい楽しんでもらうと早くから事業計画が練られました。

そして、ことしも岩室地区（中央保育園）では昨年実施した甚句枝豆の栽培はもちろんのこと、新しく和納地区（和納保育園、和納第



中央保育園

伊藤恵梨ちゃん(5歳)

とてもおいしかった枝豆

枝豆をぎはもづかしかつたけど
あはあちゃんとから教えてもらひな
がらやつたので楽しかつたです。
それに、もじた枝豆を帽子に入れ
いたら、あはあちゃんとが袋に入
れてくれました。ゆあがつた枝
豆もあいしく楽しい一日でした。
あもぢやカボチャもあつたんだよ。

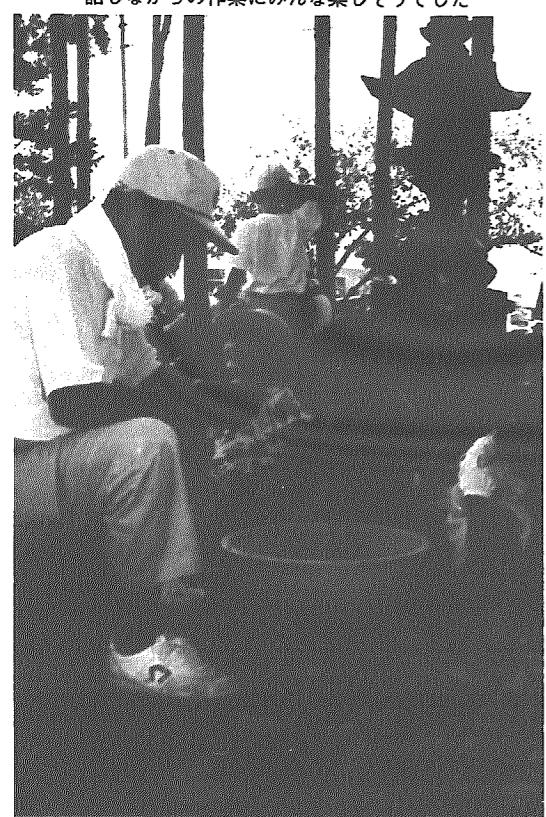
大きなカボチャにびっくり

カボチャとりをあじいちゃんと
あはあちゃんとから教えてもらひな
とも重かつたけどあもしろかつ
たよ。それにつけて、かわいい
あもぢやカボチャもあつたんだよ。

「としも臺作「ふれあい枝豆」

小林 卓くん(5歳)
和納保育園

まずは橋本神社でワイワイ、ガヤガヤ、
話しながらの作業にみんな楽しそうでした



日は、保育園で老人クラブの人たちと顔合わ
せの後、さっそく田んぼで種まき作業。「大
きく育つといいね」「これはこうやってまく
んだよ」と楽しい会話がはずむなか無事
終了。そして、みんなの大好きな枝豆畑を害鳥
などから守るために、こしもユニークな「か
かし」が共同で立てられ豊作を祈りました。

七月に入ると、こんどは枝豆畑の草取りや予
防などの作業も行われ、老人クラブの人たち
はもちろん、園児らも夏の熱い陽差しの中、
一生懸命汗を流しました。参加したお年寄り
の中には「家でも枝豆を作っているんですけど、
それよりもこっちの畑の方が気になります
ね」なんて声も聞かれるほど皆さん一生懸命。

そんな苦労も三か月経ち、いよいよ待ちに待
つた収穫祭。計画では八月二十一日頃に収穫
する予定でしたが、一週間ほど遅れた二十九
日に収穫となりました。もちろん、収穫作業

みんなで育てたふれあいパンプキン

一方、こちら和納地区でもことし初めての
試みとして、「わなみパンプキン」作りが老
人クラブと保育園児らで楽しく繰り広げられ
ました。「パンプキン」といつてもピーンと
こない?人もいると思いますが、何をかくそ
うカボチャのことなんです。カボチャといえ
ば、ほとんどの家庭で栽培していると思いま
すが、今回はちょっとかわったジャンボカボ

ます最初にご紹介します——ふれあい農園
パート1。こちらは、昨年に引き続き、いま
村内で産地化が進む「甚句枝豆」のふれあい
栽培です。こちらの「ふれあい農園」、こと
しは、中央保育園裏の転作田を借り受け、枝
豆の種まきが行われたのが六月十三日。この



「こんなカボチャもあるんだよ」と大喜びの園児たち(8/25)